

科目名	レクリエーション指導法			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
レクリエーションの意義と効果を知り、リハビリテーションに活用できる。								
〔授業全体の内容の概要〕								
レクリエーションの楽しさと意義を、実技や講義を通して学習する。 『遊びリテーション』や治療効果のあるレクリエーションの理論と指導方法を学ぶ。 グループごとにレクリエーションを実施し、評価する。 快さを引き出す対人援助技術やホスピタリティーを演習を通して学ぶ。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
レクリエーションの楽しさと意義を実技を通して体験する。 レクリエーションや『遊びリテーション』など治療効果のあるレクリエーションについての理論的な知識を持ち、対象者や目的に合わせて選択、活用できる。 楽しく効果的なレクリエーションの指導・援助ができる。								
回数	講義内容							
1	〔理論〕レクリエーションとは 〔実技〕アイスブレイキングゲーム							
2	〔理論〕医療・福祉領域のレクリエーション 〔実技〕福祉レクリエーションの実際							
3	〔理論〕治療効果のあるレクリエーション・遊びリテーションなど 〔実技〕遊びリテーションの実際(ビデオ、実技)							
4	〔理論〕レクリエーションのすすめ方 〔グループワーク〕グループ分け、レクリエーション企画、準備							
5	〔実技〕遊びリテーション実技1(グループごとに実施、評価) 〔実技〕遊びリテーション実技2(グループごとに実施、評価)							
6	〔実技〕遊びリテーション実技3(グループごとに実施、評価) 〔理論・実技〕ホスピタリティートレーニング							
7	〔実技〕クラフト1 〔実技〕クラフト2							
8	〔理論〕まとめ							
定期筆記試験								

## 【 準備学習・時間外学習 】

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
遊びリテーション	竹内孝仁他	医学書院

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

実技、筆記試験で評価する。